

第 部 障がい福祉に関するアンケート調査と  
団体ヒアリング



を超える場合があります。

- ・ 設問，選択肢の語句が長い場合には，本文や表，グラフ中では省略した表現を用いています。

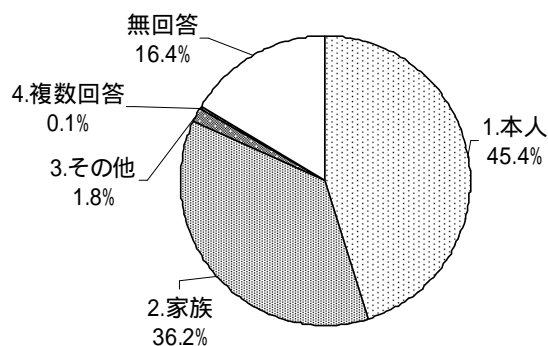
## 調査の集計結果

(回答者について)

この調査票を記入していただける方はどなたですか。次の中からお選びください。

( は1つだけ)

「本人」が 45.4%を占め、「家族」の 36.2%が続きます。



(単位:人、%)

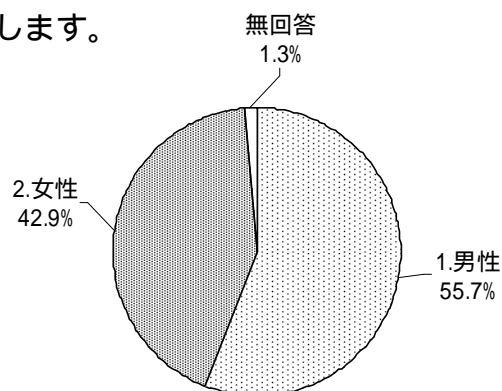
区分	1.本人	2.家族	3.その他	4.複数回答	無回答	合計
人数	442	353	18	1	160	974
割合	45.4	36.2	1.8	0.1	16.4	100.0

## 1 あなたご自身について

問1 あなたの性別、年齢などについておたずねします。

(1) 性別

「男性」が 55.7%、「女性」が 42.9%と、約 13%男性が女性を上回っています。

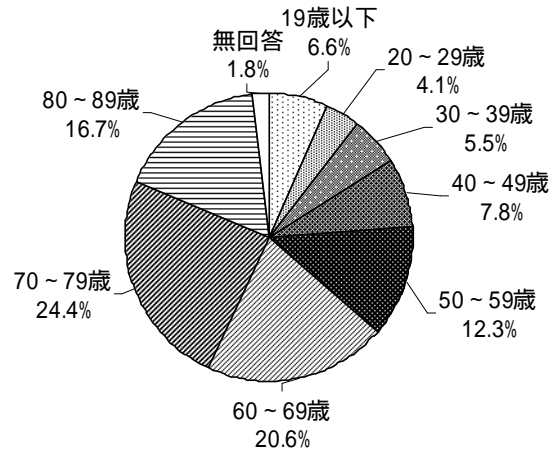


(単位:人、%)

区分	1.男性	2.女性	無回答	合計
人数	543	418	13	974
割合	55.7	42.9	1.3	100.0

## (2) 年齢

「70～79歳」が24.4%と最も多く、「60～69歳」の20.6%、「80～89歳」の16.7%、「50～59歳」12.3%と続きます。「50歳以上」で74%を占めます。

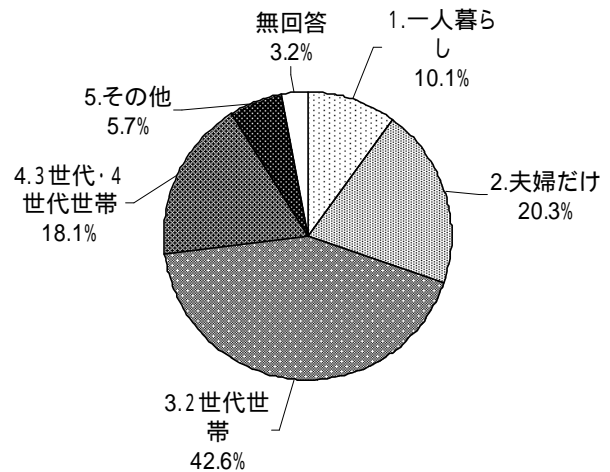


(単位:人、%)

区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	無回答	合計
人数	64	40	54	76	120	201	238	163	18	974
割合	6.6	4.1	5.5	7.8	12.3	20.6	24.4	16.7	1.8	100.0

## (3) 家族構成

「3世代世帯」が42.6%と最も多く、「夫婦だけ」の20.3%、「2世代世帯」の18.1%が続きます。

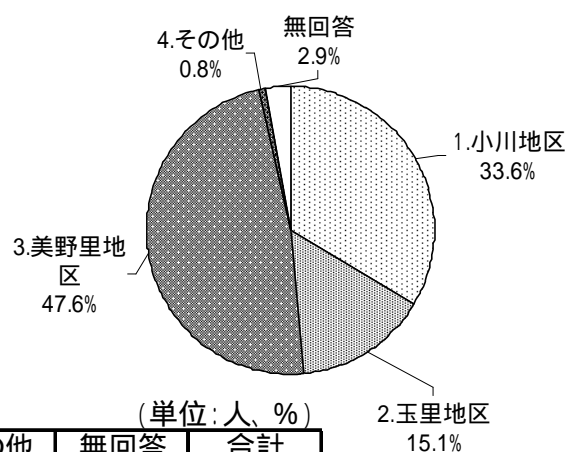


(単位:人、%)

区分	1.一人暮らし	2.夫婦だけ	3.2世代世帯	4.3世代・4世代世帯	5.その他	無回答	合計
人数	98	198	415	176	56	31	974
割合	10.1	20.3	42.6	18.1	5.7	3.2	100.0

#### (4) 居住地

「美野里地区」が47.6%と約半数を占め、「小川地区」の33.6%、「玉里地区」の15.1%と続きます。

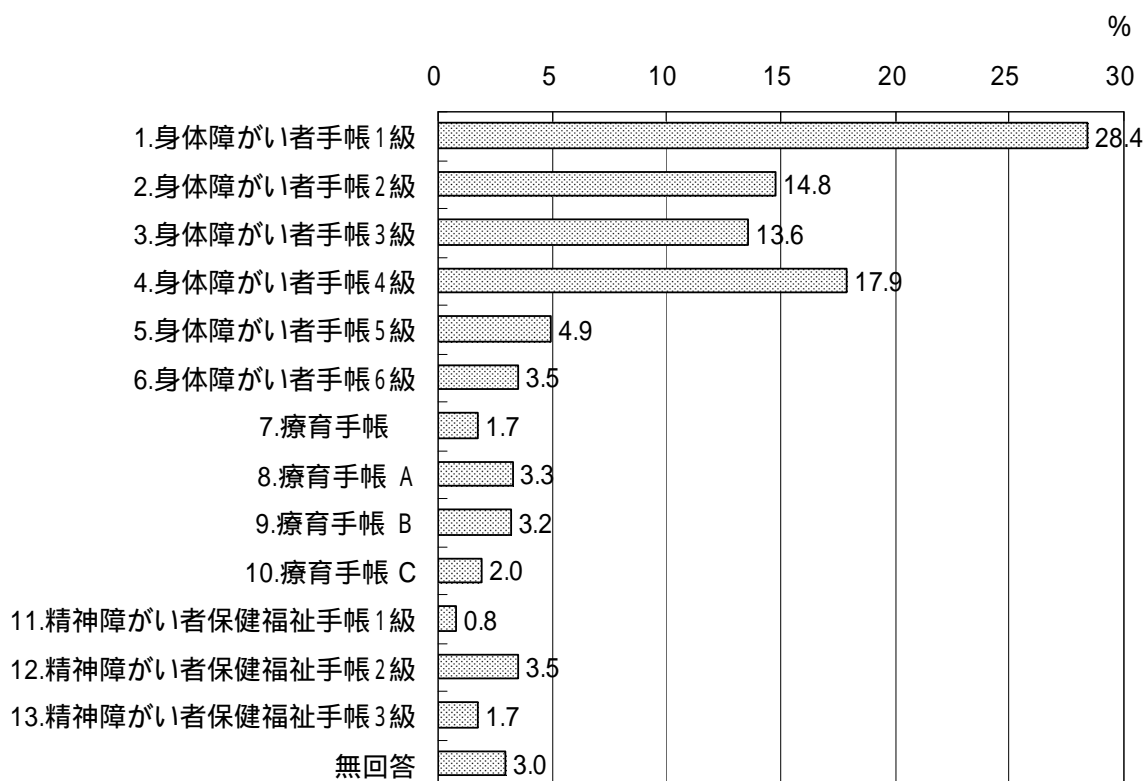


(単位:人、%)

区分	1.小川地区	2.玉里地区	3.美野里地区	4.その他	無回答	合計
人数	327	147	464	8	28	974
割合	33.6	15.1	47.6	0.8	2.9	100.0

#### 問2 あなたのお持ちの障がい者手帳はどれですか。(あてはまるのすべてに )

最も多いのが「身体障がい者手帳1級」の28.4%で、「身体障がい者手帳4級」の17.9%、「身体障がい者手帳2級」の14.8%、「身体障がい者手帳3級」の13.6%と続きます。



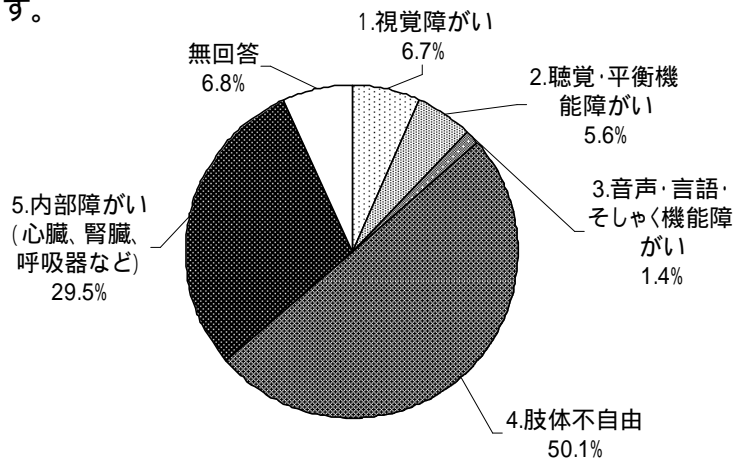
区分	1.身体障がい者手帳1級	2.身体障がい者手帳2級	3.身体障がい者手帳3級	4.身体障がい者手帳4級	5.身体障がい者手帳5級	6.身体障がい者手帳6級	7.療育手帳	8.療育手帳 A	9.療育手帳 B
人数	277	144	132	174	48	34	17	32	31
割合	28.4	14.8	13.6	17.9	4.9	3.5	1.7	3.3	3.2

(単位:人、%)

10.療育手帳 C	11.精神障がい者保健福祉手帳1級	12.精神障がい者保健福祉手帳2級	13.精神障がい者保健福祉手帳3級	無回答	合計	回答者数
19	8	34	17	29	996	974
2.0	0.8	3.5	1.7	3.0	102.3	100.0

(問2で「1」～「6」とお答えの身体障がい者の方に)  
問2-1 主な障がいは何ですか。( は1つだけ)

「肢体不自由」が50.1%と約半数を占めます。「内部障がい」の29.5%が続きます。



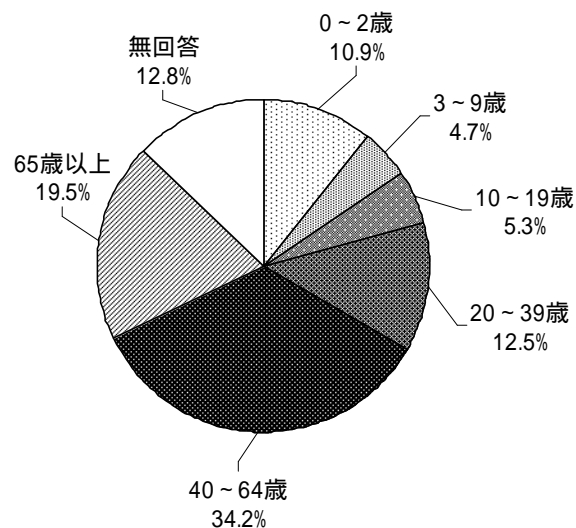
(単位:人、%)

区分	1.視覚障がい	2.聴覚・平衡機能障がい	3.音声・言語・そしゃく機能障がい	4.肢体不自由	5.内部障がい(心臓、腎臓、呼吸器など)	無回答	合計
人数	54	45	11	405	239	55	809
割合	6.7	5.6	1.4	50.1	29.5	6.8	100.0

問3 主な障がいが生じたのは、何歳ごろですか。

「40～64歳」の34.2%が最も多く、「65歳以上」の19.5%、「20～39歳」の12.5%、と続きます。

半数が障がいを有したのは20歳以降の壮年期です。



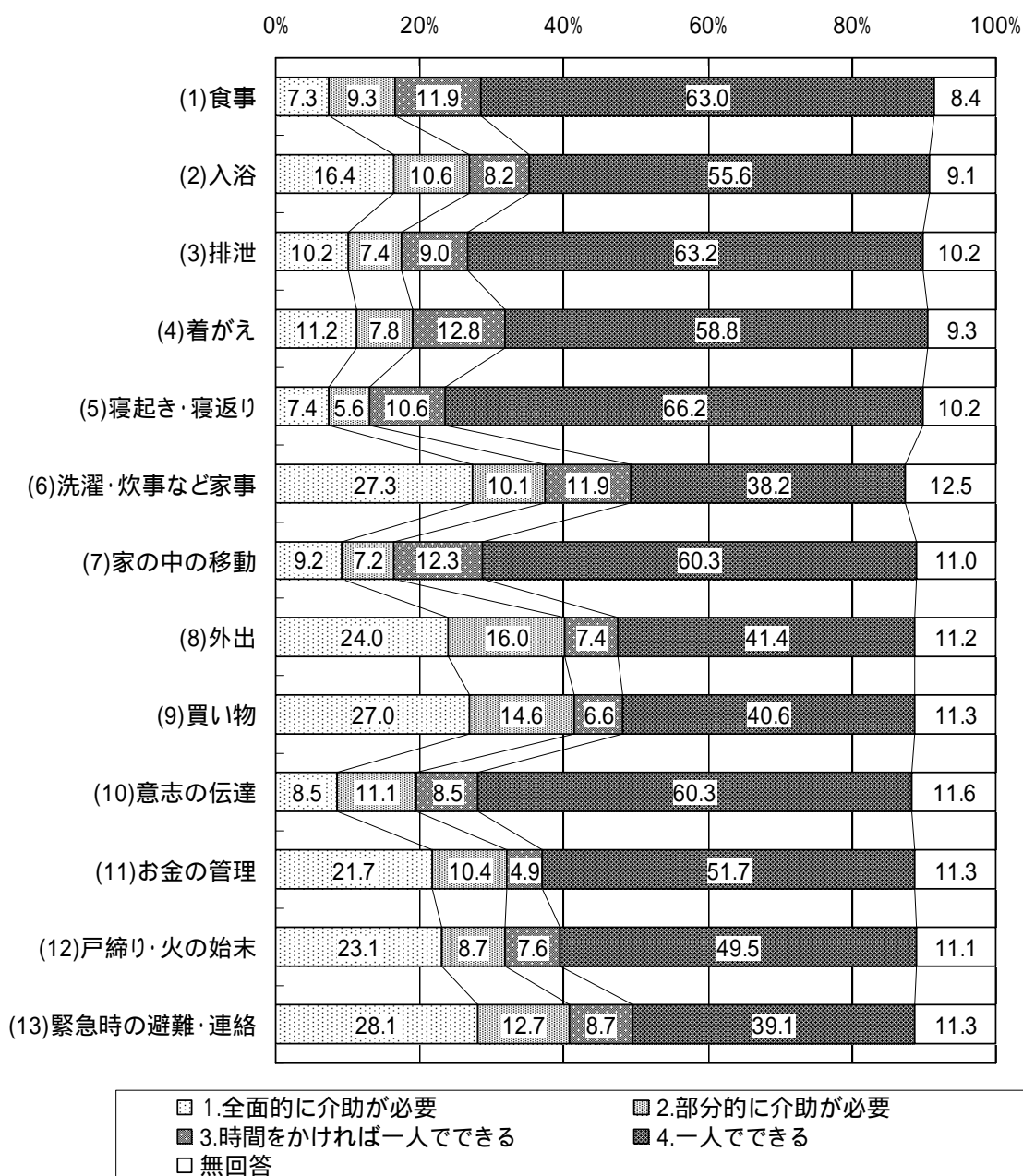
(単位:人、%)

区分	0～2歳	3～9歳	10～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	無回答	合計
人数	106	46	52	122	333	190	125	974
割合	10.9	4.7	5.3	12.5	34.2	19.5	12.8	100.0

問4 次の(1)から(13)のことをするのに介助が必要ですか。

「全面的に介助が必要」が最も多いのが「(13) 緊急時の避難・連絡」の28.1%で、「(6) 洗濯・炊事など家事」の27.3%、「(9) 買い物」の27.0%が続きます。また、「部分的に介助が必要」を合わせると、「(8) 外出」が上位に入ってきます。

日常生活の買い物、家事、外出に、また緊急時の避難・連絡に介助を求める声が強いです。





(単位:人、%)

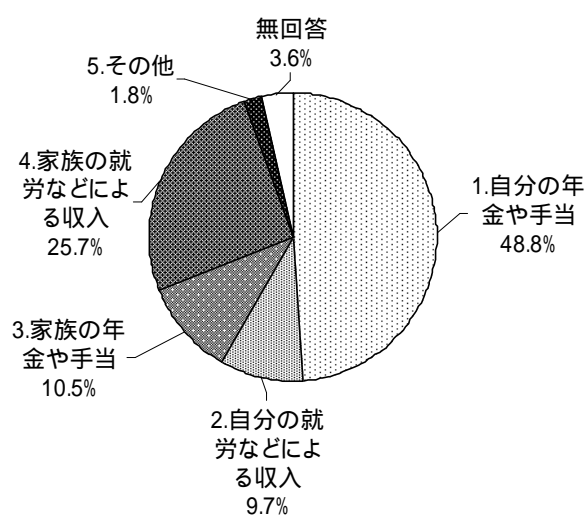
項目	区分	1.全面的に介助が必要	2.部分的に介助が必要	3.時間をかければ一人でできる	4.一人でできる	5.複数回答	無回答	合計
(1)食事	人数	71	91	116	614	0	82	974
	割合	7.3	9.3	11.9	63.0	0.0	8.4	100.0
(2)入浴	人数	160	103	80	542	0	89	974
	割合	16.4	10.6	8.2	55.6	0.0	9.1	100.0
(3)排泄	人数	99	72	88	616	0	99	974
	割合	10.2	7.4	9.0	63.2	0.0	10.2	100.0
(4)着がえ	人数	109	76	125	573	0	91	974
	割合	11.2	7.8	12.8	58.8	0.0	9.3	100.0
(5)寝起き・寝返り	人数	72	55	103	645	0	99	974
	割合	7.4	5.6	10.6	66.2	0.0	10.2	100.0
(6)洗濯・炊事など家事	人数	266	98	116	372	2	120	974
	割合	27.3	10.1	11.9	38.2	0.2	12.3	100.0
(7)家の中の移動	人数	90	70	120	587	1	106	974
	割合	9.2	7.2	12.3	60.3	0.1	10.9	100.0
(8)外出	人数	234	156	72	403	1	108	974
	割合	24.0	16.0	7.4	41.4	0.1	11.1	100.0
(9)買い物	人数	263	142	64	395	2	108	974
	割合	27.0	14.6	6.6	40.6	0.2	11.1	100.0
(10)意志の伝達	人数	83	108	83	587	1	112	974
	割合	8.5	11.1	8.5	60.3	0.1	11.5	100.0
(11)お金の管理	人数	211	101	48	504	0	110	974
	割合	21.7	10.4	4.9	51.7	0.0	11.3	100.0
(12)戸締り・火の始末	人数	225	85	74	482	0	108	974
	割合	23.1	8.7	7.6	49.5	0.0	11.1	100.0
(13)緊急時の避難・連絡	人数	274	124	85	381	0	110	974
	割合	28.1	12.7	8.7	39.1	0.0	11.3	100.0

問5 あなたの生活費は、主に、次のどれによってまかなわれていますか。

( は1つだけ)

「自分の年金や手当」が48.8%と約半数を占め、「家族の就労などによる収入」の25.7%が続きます。

約半数が自分の年金、手当でまかなわれていることから、生計の厳しさが伺われます。



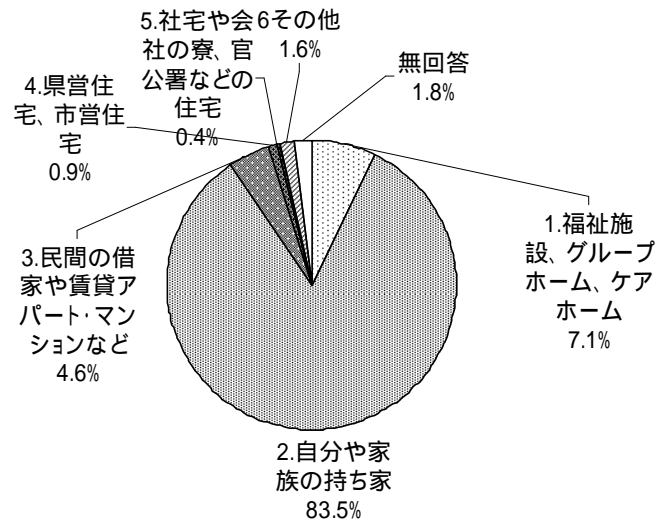
(単位:人、%)

区分	1.自分の年金や手当	2.自分の就労などによる収入	3.家族の年金や手当	4.家族の就労などによる収入	5.その他	無回答	合計
人数	475	94	102	250	18	35	974
割合	48.8	9.7	10.5	25.7	1.8	3.6	100.0

## 2 生活場所について

問6 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。( は1つだけ)

「自分や家族の持ち家」が83.5%とほとんどを占めます。「福祉施設、グループホーム、ケアホーム」が7.1%、「民間の借家や賃貸アパート・マンションなど」が4.6%を示します。



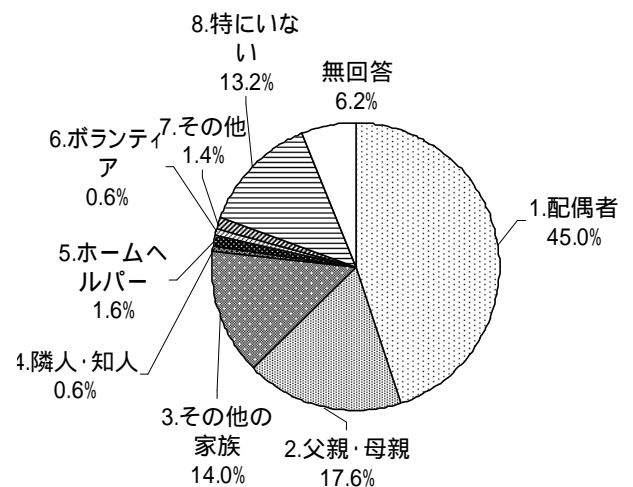
(単位:人、%)

区分	1.福祉施設、グループホーム、ケアホーム	2.自分や家族の持ち家	3.民間の借家や賃貸アパート・マンションなど	4.県営住宅、市営住宅	5.社宅や会社の寮、官公署などの住宅	6その他	無回答	合計
人数	69	813	45	9	4	16	18	974
割合	7.1	83.5	4.6	0.9	0.4	1.6	1.8	100.0

(問6で「2」～「6」(自宅)とお答えの方に)

問6-1 あなたの主な介助者は誰ですか。( は1つだけ)

「配偶者」が45.0%と最も多く、「父親・母親」の17.6%、「その他の家族」の14.0%が続きます



(単位:人、%)

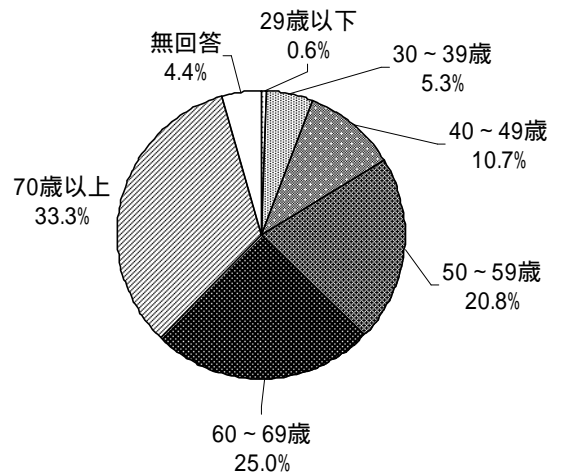
区分	1.配偶者	2.父親・母親	3.その他の家族	4.隣人・知人	5.ホームヘルパー	6.ボランティア	7.その他	8.特にいない	無回答	合計
人数	399	156	124	5	14	5	12	117	55	887
割合	45.0	17.6	14.0	0.6	1.6	0.6	1.4	13.2	6.2	100.0

(問6-1で「1」～「4」とお答えの方に)

問6-2 その方の年齢はおいくつですか。

「70歳以上」が33.3%と最も多く、「60～69歳」の25.0%、「50～59歳」の20.8%と続きます。

障がい者の高齢化とともに、介助者の高齢化が表れています。



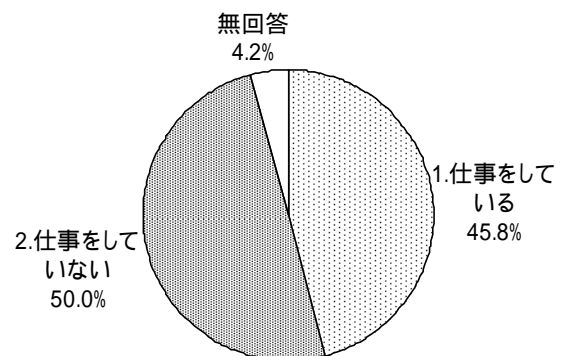
(単位:人、%)

区分	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
人数	4	36	73	142	171	228	30	684
割合	0.6	5.3	10.7	20.8	25.0	33.3	4.4	100.0

問6-3 その方は、現在仕事をしていますか。

「仕事をしていない」が50.0%と半数を占め、「仕事をしている」の45.8%を上回っている。

介助者の高齢化とともに、介助者も半数が被扶養者になってと言えます。



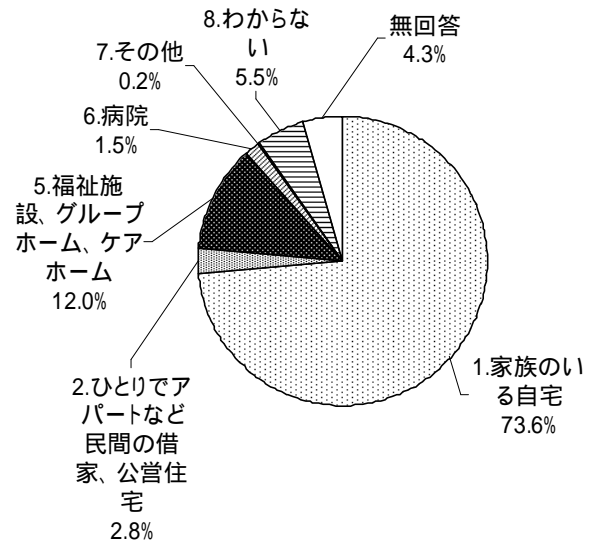
(単位:人、%)

区分	1.仕事をしている	2.仕事を していない	無回答	合計
人数	313	342	29	684
割合	45.8	50.0	4.2	100.0

### 3 将来の生活場所について

問7 あなたは、将来どこで生活したいですか。（ は1つだけ）

「家族のいる自宅」が 73.6%で、「福祉施設、グループホーム、ケアホーム」が 12.0%を占めます。

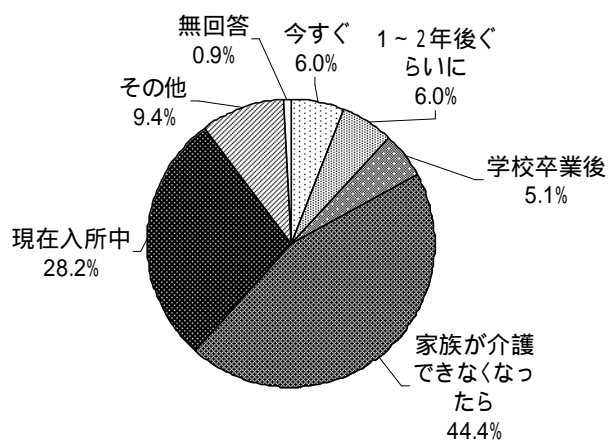


(単位:人、%)

区分	1.家族のいる自宅	2.ひとりでアパートなど民間の借家、公営住宅	3.社宅、寮	4.間借り、住み込み	5.福祉施設、グループホーム、ケアホーム	6.病院	7.その他	8.わからない	無回答	合計
人数	717	27	0	0	117	15	2	54	42	974
割合	73.6	2.8	0.0	0.0	12.0	1.5	0.2	5.5	4.3	100.0

(問7で「5. 福祉施設、グループホーム、ケアホーム」とお答えの方に)  
 問7-1 あなたは、いつごろからの入所を希望しますか。( は1つだけ)

「家族が介護できなくなったら」が44.4%と最も多く、「現在入所中」の28.2%が続きます。施設の入所の意向は、現在の介助者の今後の問題に直接関連しています。

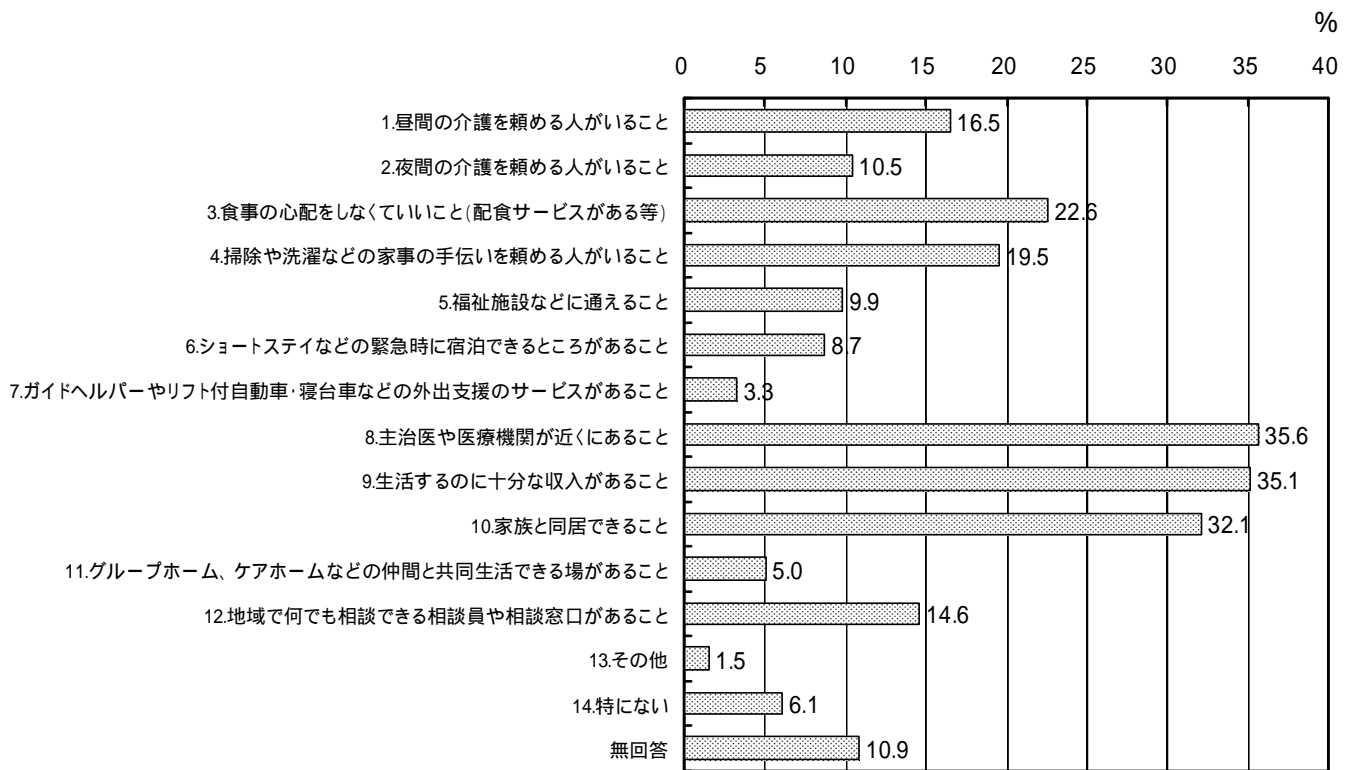


(単位:人、%)

区分	今すぐ	1~2年後ぐらいに	学校卒業後	家族が介護できなくなったら	現在入所中	その他	無回答	合計
人数	7	7	6	52	33	11	1	117
割合	6.0	6.0	5.1	44.4	28.2	9.4	0.9	100.0

問8 あなたは、どのような条件が整えば、自宅や地域で生活できると思いますか。  
( は3つまで)

「主治医や医療機関が近くにあること」が35.6%と最も多く、「生活するのに十分な収入があること」の35.1%、「家族と同居できること」の32.1%が続きます。



区分	1.昼間の介護を頼める人がいること	2.夜間の介護を頼める人がいること	3.食事の心配をしなくていいこと(配食サービスがある等)	4.掃除や洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること	5.福祉施設などに通えること	6.ショートステイなどの緊急時に宿泊できるところがあること	7.ガイドヘルパーやリフト付自動車・寝台車などの外出支援のサービスがあること	8.主治医や医療機関が近くにあること	9.生活するのに十分な収入があること
人数	161	102	220	190	96	85	32	347	342
割合	16.5	10.5	22.6	19.5	9.9	8.7	3.3	35.6	35.1

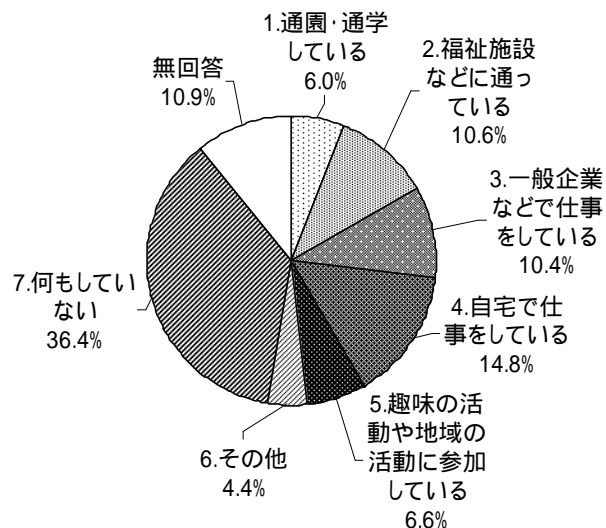
(単位:人、%)

10.家族と同居できること	11.グループホーム、ケアホームなどの仲間と共同生活できる場があること	12.地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること	13.その他	14.特にない	無回答	合計	回答者数
313	49	142	15	59	106	2259	974
32.1	5.0	14.6	1.5	6.1	10.9	231.9	100.0

## 4 日頃の活動状況について

問9 あなたは日中、主にどのような活動をしていますか。(週に1日、2日程度活動する場合も含まれます。)( は1つだけ)

「何もしていない」が 36.4%、「自宅で仕事をしている」が 14.8%、「福祉施設などに通っている」が 10.6%、「一般企業などで仕事をしている」が 10.4%と続きます。



(単位:人、%)

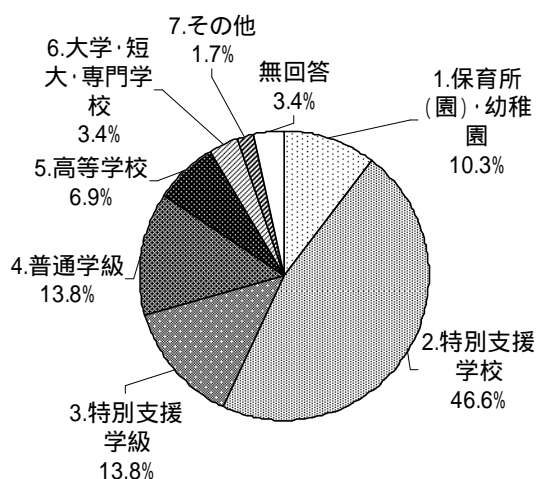
区分	1.通園・通学している	2.福祉施設などに通っている	3.一般企業などで仕事をしている	4.自宅で仕事をしている	5.趣味の活動や地域の活動に参加している	6.その他	7.何もしていない	無回答	合計
人数	58	103	101	144	64	43	355	106	974
割合	6.0	10.6	10.4	14.8	6.6	4.4	36.4	10.9	100.0

## 5 教育について

【現在、通園・通学している方のみ、お答えください】

問10 あなたの通園・通学先は次のどれですか。（ は1つだけ）

「特別支援学校」が46.6%と約半数弱を占めます。以下、「特別支援学級」、「普通学級」の13.8%、「保育所、幼稚園」の10.3%が続きます。

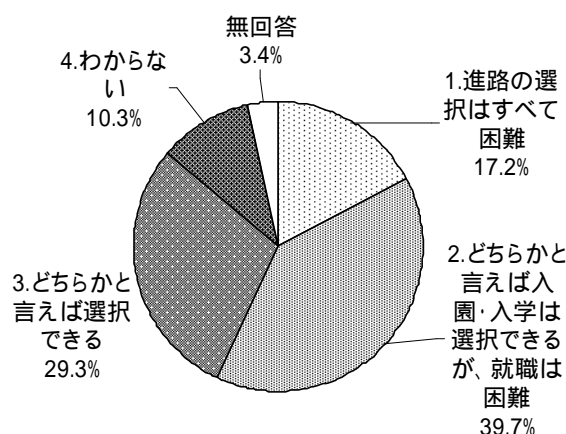


(単位:人、%)

区分	1.保育所(園)・幼稚園	2.特別支援学校	3.特別支援学級	4.普通学級	5.高等学校	6.大学・短大・専門学校	7.その他	無回答	合計
人数	6	27	8	8	4	2	1	2	58
割合	10.3	46.6	13.8	13.8	6.9	3.4	1.7	3.4	100.0

問11 保育所(園)や幼稚園、学校へ入園・入学するときや、就職するときなど、進路の選択についておうかがいします。希望する進路を選択できますか。（ は1つだけ）

「どちらかと言えば入園、入学は選択できるが、就職は困難」が39.7%と最も多く、「どちらかと言えば選択できる」の29.3%、「進路の選択すべて困難」の17.2%と続きます。



(単位:人、%)

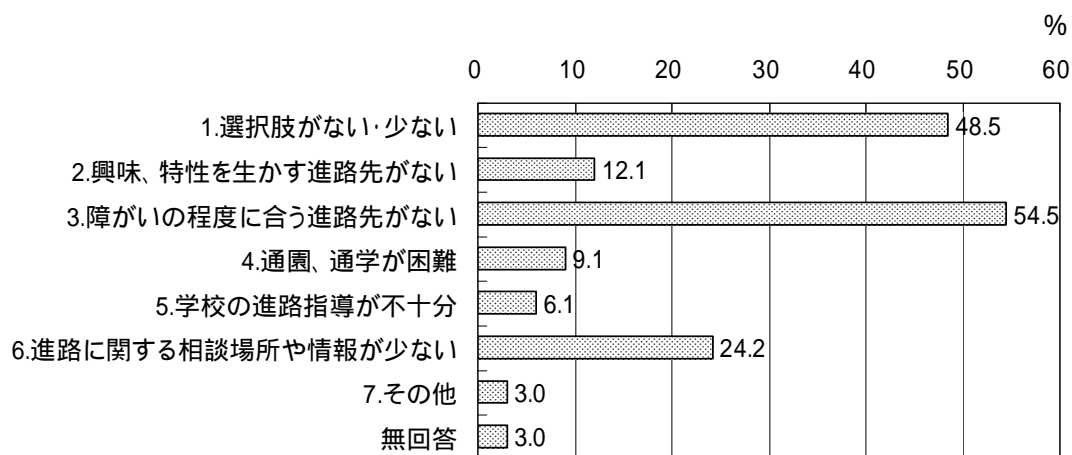
区分	1.進路の選択はすべて困難	2.どちらかと言えば入園・入学は選択できるが、就職は困難	3.どちらかと言えば選択できる	4.わからない	無回答	合計
人数	10	23	17	6	2	58
割合	17.2	39.7	29.3	10.3	3.4	100.0



(問11で「1」または「2」の困難とお答えの方に)

問11 - 1 希望する進路を選択できない理由は何ですか。( は2つまで)

「障がいの程度に合う進路先がない」が 54.5%と最も多く、「選択肢がない・少ない」の 48.5%が続きます。

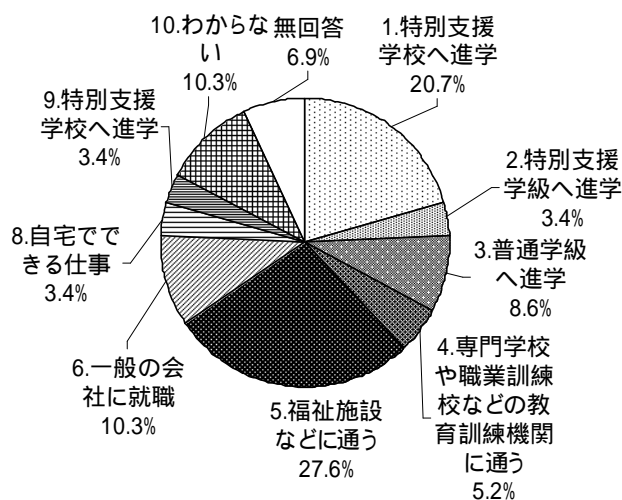


(単位:人、%)

区分	1. 選択肢がない・少ない	2. 興味、特性を生かす進路先がない	3. 障がいの程度に合う進路先がない	4. 通園、通学が困難	5. 学校の進路指導が不十分	6. 進路に関する相談場所や情報が少ない	7. その他	無回答	合計	回答者数
人数	16	4	18	3	2	8	1	1	53	33
割合	48.5	12.1	54.5	9.1	6.1	24.2	3.0	3.0	160.6	100.0

問12 卒園、卒業後については、どのようにお考えですか。( は1つだけ)

「福祉施設などに通う」が 27.6%と最も多く、「特別支援学校へ進学」の 20.7%が続きます。「一般の会社に就職」の回答は 10.3%に止まっています。



区 分	1.特別支 援学校へ 進学	2.特別支 援学級へ 進学	3.普通学 級へ進学	4.専門学 校や職業 訓練校な どの教育 訓練機関 に通う	5.福祉施 設などに 通う	6.一般の 会社に就 職	7.一般の 会社で パートや アルバイト	8.自宅で できる仕 事	9.特別支 援学校へ 進学
人 数	12	2	5	3	16	6	0	2	2
割 合	20.7	3.4	8.6	5.2	27.6	10.3	0.0	3.4	3.4

(単位:人、%)

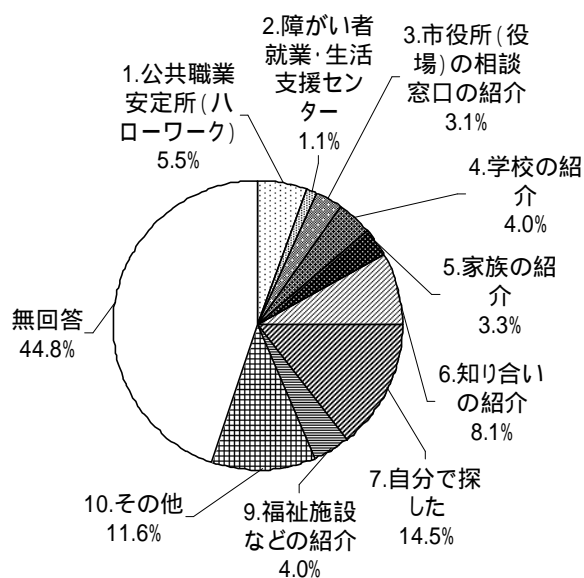
10.わから ない	無回答	合計
6	4	58
10.3	6.9	100.0

## 6 就労や活動状況について

【問13から問16は、現在、仕事や日中の活動をしている方のみ、お答えください】

問13 今の活動は、どのような方法で見つけましたか。（ は1つだけ）

「自分で探した」の14.5%で、「その他」の11.6%、「知り合いの紹介」の8.1%と続きます。



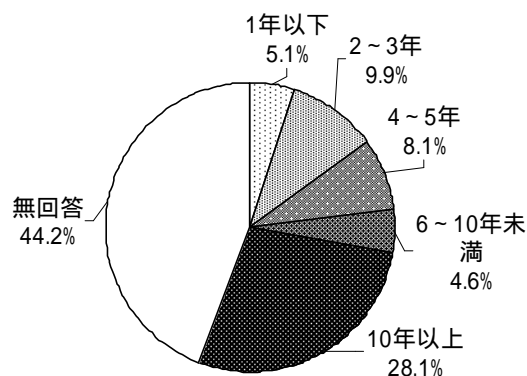
区分	1.公共職業安定所(ハローワーク)	2.障がい者就業・生活支援センター	3.市役所(役場)の相談窓口の紹介	4.学校の紹介	5.家族の紹介	6.知り合いの紹介	7.自分で探した	8.職業訓練校の紹介	9.福祉施設などの紹介
人数	25	5	14	18	15	37	66	0	18
割合	5.5	1.1	3.1	4.0	3.3	8.1	14.5	0.0	4.0

(単位:人、%)

10.その他	無回答	合計
53	204	455
11.6	44.8	100.0

問14 現在の活動を何年ぐらい続けていますか。

「10年以上」の28.1%で、「2～3年」の9.9%、「4～5年」の8.1%と続きます。

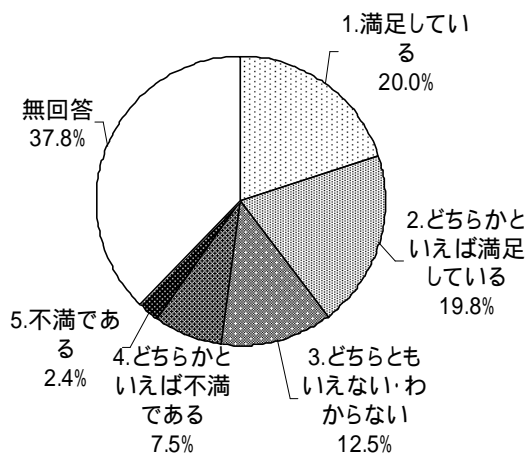


(単位:人、%)

区分	1年以下	2～3年	4～5年	6～10年未満	10年以上	無回答	合計
人数	23	45	37	21	128	201	455
割合	5.1	9.9	8.1	4.6	28.1	44.2	100.0

問15 現在の仕事や活動に満足していますか。( は1つだけ)

「満足している」の20.0%で、「どちらかといえば満足している」の19.8%、「どちらともいえない」の12.5%と続きます。満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

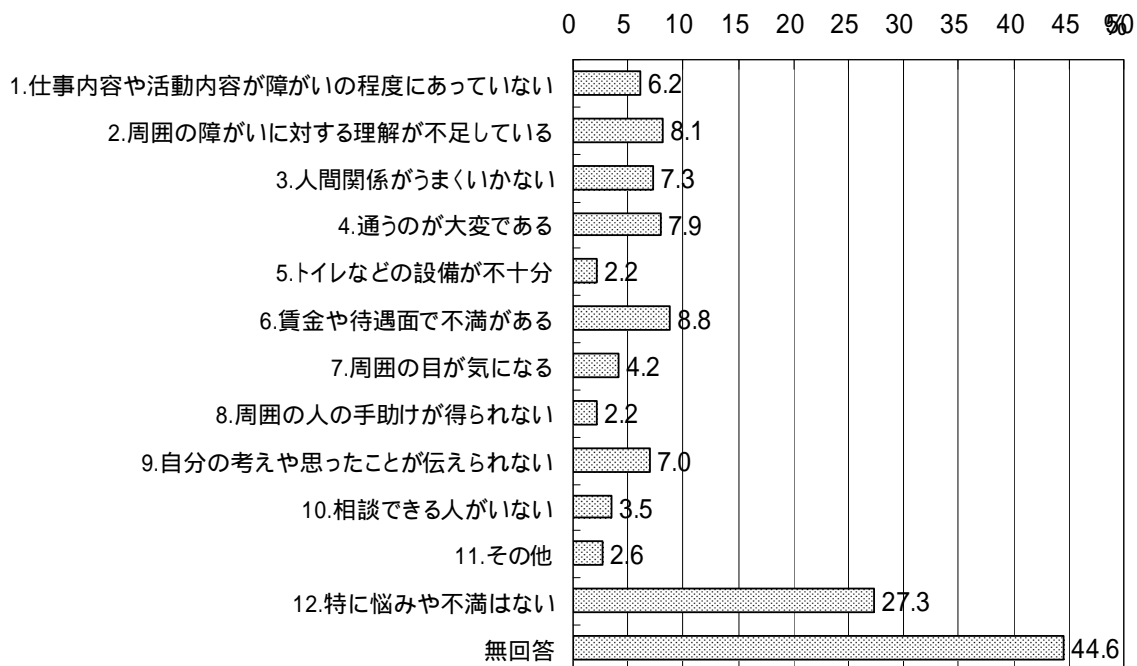


(単位:人、%)

区分	1.満足している	2.どちらかといえば満足している	3.どちらともいえない・わからない	4.どちらかといえば不満である	5.不満である	無回答	合計
人数	91	90	57	34	11	172	455
割合	20.0	19.8	12.5	7.5	2.4	37.8	100.0

問16 現在の仕事や活動のことで悩んでいることや困っていることがありますか。  
 (あてはまるものすべてに )

「特に悩みや不満はない」の27.3%で、その他の回答は分散し、大きな割合を示す回答はありません。



区分	1.仕事内容や活動内容が障がいの程度にあっていない	2.周囲の障がいに対する理解が不足している	3.人間関係がうまくいかない	4.通うのが大変である	5.トイレなどの設備が不十分	6.賃金や待遇面で不満がある	7.周囲の目が気になる	8.周囲の人の手助けが得られない	9.自分の考えや思ったことが伝えられない
人数	28	37	33	36	10	40	19	10	32
割合	6.2	8.1	7.3	7.9	2.2	8.8	4.2	2.2	7.0

(単位:人、%)

10.相談できる人がいない	11.その他	12.特に悩みや不満はない	無回答	合計	回答者数
16	12	124	203	600	455
3.5	2.6	27.3	44.6	131.9	100.0

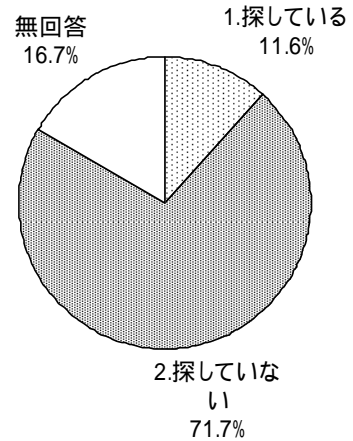
【問 17 から問 18 は、現在、仕事や活動の有無にかかわらずお答えください】

問17 あなたは現在、他の仕事や活動を探していますか。（ は1つだけ）

「探していない」が71.7%とほとんどを占め、「探している」は11.6%です。

(単位:人、%)

区分	1.探している	2.探していない	無回答	合計
人数	94	581	135	810
割合	11.6	71.7	16.7	100.0

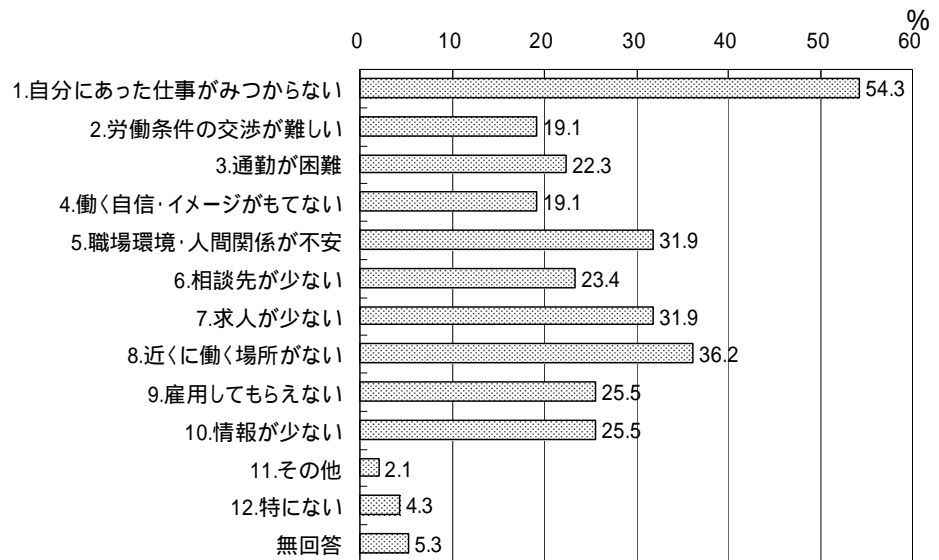


(問17で「1.探している」とお答えの方に)

問17-1 仕事や活動を探すうえで、不安や困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに )

「自分にあった仕事が見つからない」が54.3%、「近くに働く場所がない」の36.2%、「職場環境・人間関係が不安」の31.9%、「求人が少ない」の31.9%が続きます。



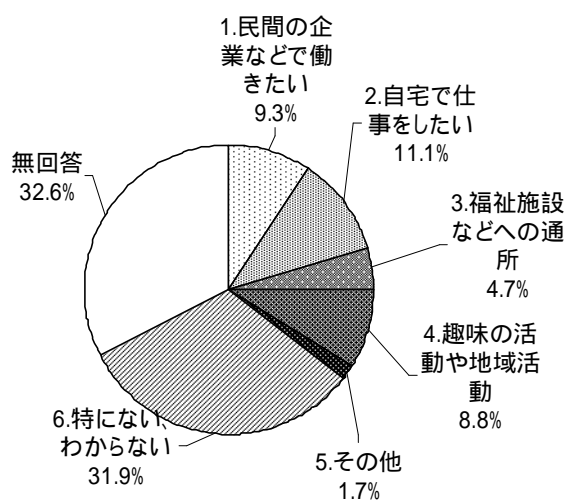
区分	1.自分にあつた仕事が見つからない	2.労働条件の交渉が難しい	3.通勤が困難	4.働く自信・イメージがもてない	5.職場環境・人間関係が不安	6.相談先が少ない	7.求人が少ない	8.近くに働く場所がない	9.雇用してもらえない
人数	51	18	21	18	30	22	30	34	24
割合	54.3	19.1	22.3	19.1	31.9	23.4	31.9	36.2	25.5

(単位:人、%)

区分	10.情報が少ない	11.その他	12.特にない	無回答	合計	回答者数
人数	24	2	4	5	283	94
割合	25.5	2.1	4.3	5.3	301.1	100.0

問18 今後、あなたはどのように仕事や活動をしていきたいですか。( は1つだけ)

「特にない、わからない」の31.9%で、「自宅で仕事をしたい」の11.1%、「民間の企業などで働きたい」の9.3%、「趣味の活動や地域活動」の8.8%と続きます。



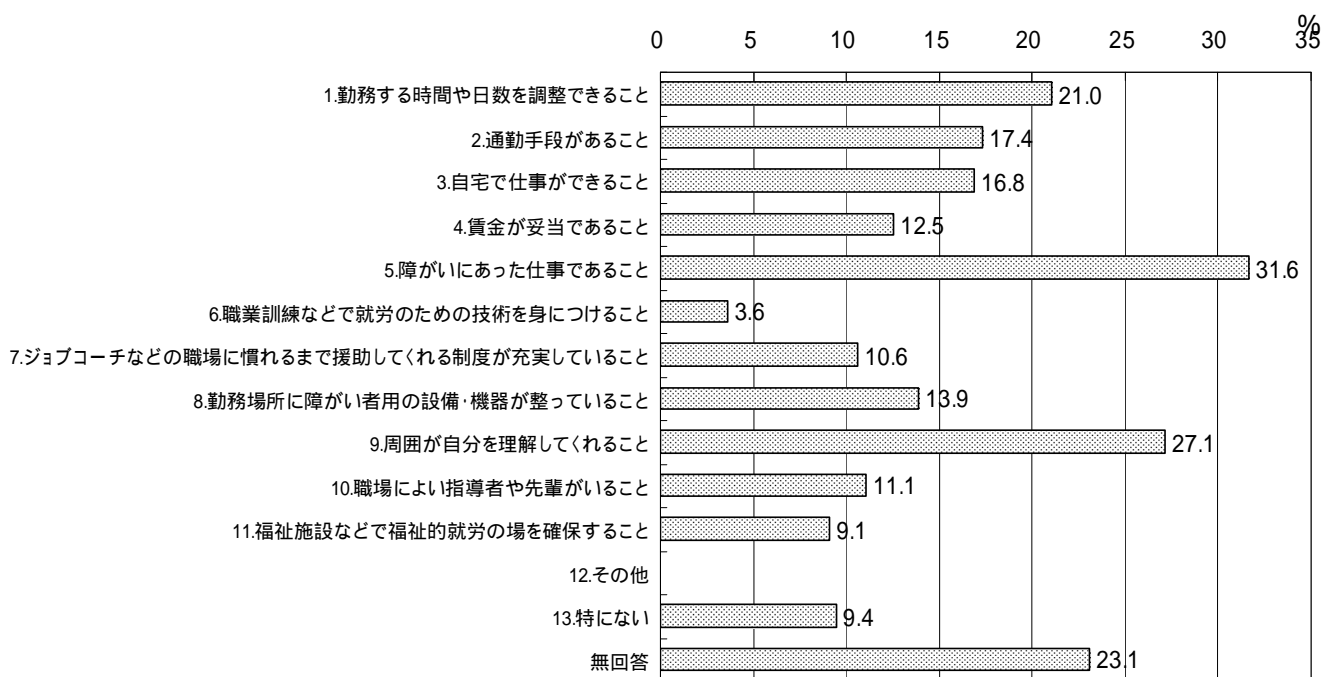
(単位:人、%)

区分	1.民間の企業などで働きたい	2.自宅で仕事をしたい	3.福祉施設などへの通所	4.趣味の活動や地域活動	5.その他	6.特にない、わからない	無回答	合計
人数	75	90	38	71	14	258	264	810
割合	9.3	11.1	4.7	8.8	1.7	31.9	32.6	100.0

【再びすべての方におうかがいします】

問19 障がい者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。( は3つまで)

「障がいにあった仕事であること」が31.6%と最も多く、「周囲が自分を理解してくれること」の27.1%、「勤務する時間や日数を調整できること」の21.0%が続きます。



区分	1.勤務する時間や日数を調整できること	2.通勤手段があること	3.自宅で仕事ができること	4.賃金が妥当であること	5.障がいにあった仕事であること	6.職業訓練などで就労のための技術を身につけること	7.ジョブコーチなどの職場に慣れるまで援助してくれる制度が充実していること	8.勤務場所に障がい者用の設備・機器が整っていること	9.周囲が自分を理解してくれること
人数	205	169	164	122	308	35	103	135	264
割合	21.0	17.4	16.8	12.5	31.6	3.6	10.6	13.9	27.1

(単位:人、%)

10.職場により指導者や先輩がいること	11.福祉施設などで福祉的就労の場を確保すること	12.その他	13.特にない	無回答	合計	回答者数
108	89	11	92	225	2,030	974
11.1	9.1		9.4	23.1	208.4	100.0

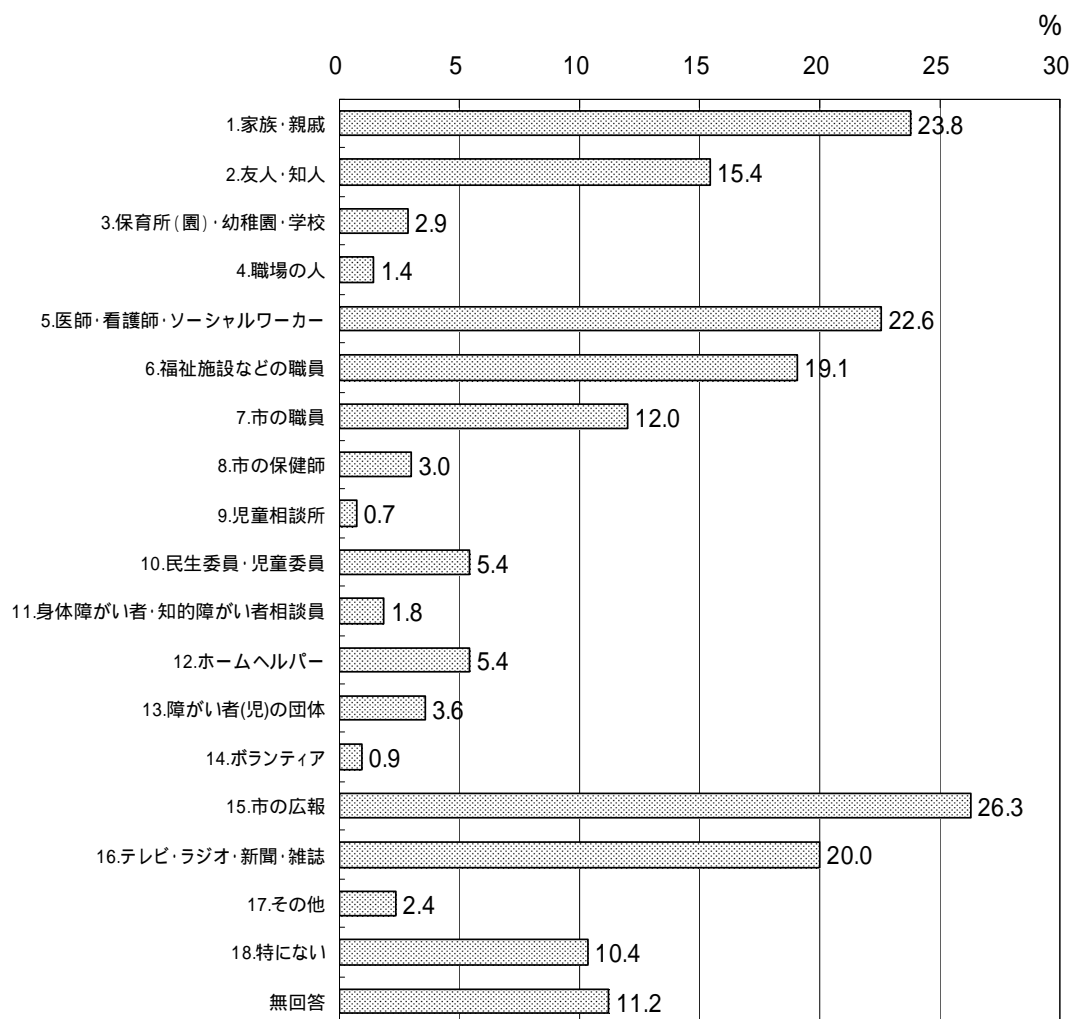


## 7 情報や相談について

問20 あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

( は3つまで)

最も多いのが「市の広報」の26.3%で、以下、「家族・親戚」の23.8%、「医師・看護師・ソーシャルワーカー」の22.6%、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の20.0%、「福祉施設などの職員」の19.1%が続きます。市の広報が情報提供に大きな役割を果たしています。



区分	1.家族・親戚	2.友人・知人	3.保育所(園)・幼稚園・学校	4.職場の人	5.医師・看護師・ソーシャルワーカー	6.福祉施設などの職員	7.市の職員	8.市の保健師	9.児童相談所	10.民生委員・児童委員
人数	232	150	28	14	220	186	117	29	7	53
割合	23.8	15.4	2.9	1.4	22.6	19.1	12.0	3.0	0.7	5.4

(単位:人、%)

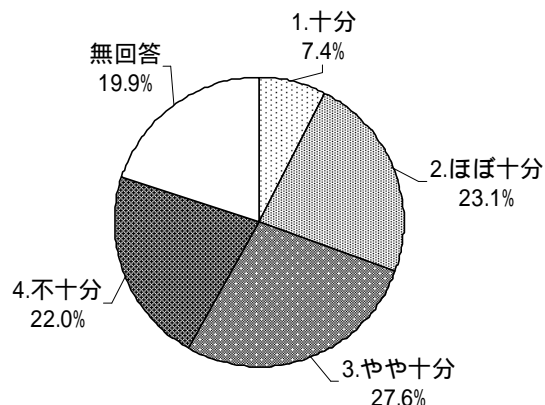
11.身体障がい者・知的障がい者相談員	12.ホームヘルパー	13.障がい者(児)の団体	14.ボランティア	15.市の広報	16.テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	17.その他	18.特にない	無回答	合計	回答者数
18	53	35	9	256	195	23	101	109	1,835	974
1.8	5.4	3.6	0.9	26.3	20.0	2.4	10.4	11.2	188.4	100.0

問21 現在の情報提供の量や質について、あなたはどのように感じますか。

( は1つだけ)

「やや十分」が 27.6%と最も多く、「ほぼ十分」の 23.1%、「不十分」の 22.0%が続きます。

「やや十分」を不十分に傾いた回答と判断すると、不十分が約半数を占めます。

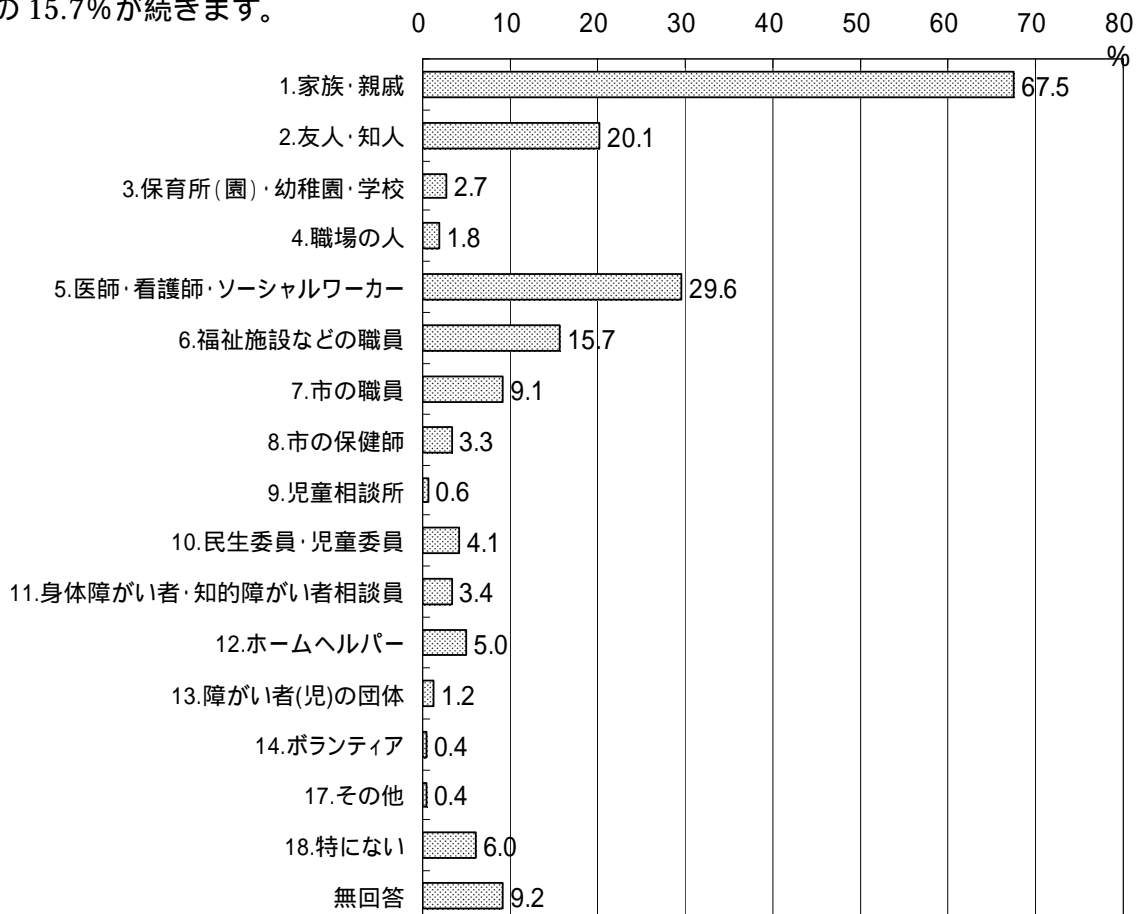


(単位:人、%)

区分	1.十分	2.ほぼ十分	3.やや十分	4.不十分	無回答	合計
人数	72	225	269	214	194	974
割合	7.4	23.1	27.6	22.0	19.9	100.0

問22 あなたが悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。( は3つまで)

「家族・親戚」が 67.5%と群を抜いて多く、約 2/3の方が回答しています。その他では、「医師・看護師・ソーシャルワーカー」の 29.6%が最も多く、「友人・知人」の 20.1%、「福祉施設の職員」の 15.7%が続きます。



区分	1.家族・親戚	2.友人・知人	3.保育所(園)・幼稚園・学校	4.職場の人	5.医師・看護師・ソーシャルワーカー	6.福祉施設などの職員	7.市の職員	8.市の保健師	9.児童相談所
人数	657	196	26	18	288	153	89	32	6
割合	67.5	20.1	2.7	1.8	29.6	15.7	9.1	3.3	0.6

(単位:人、%)

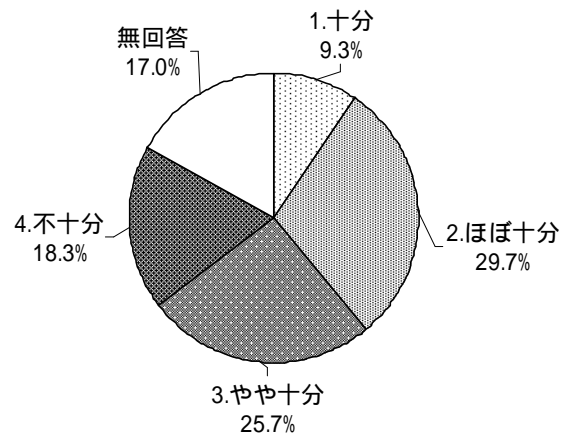
区分	10.民生委員・児童委員	11.身体障がい者・知的障がい者相談員	12.ホームヘルパー	13.障がい者(児)の団体	14.ボランティア	17.その他	18.特になし	無回答	合計	回答者数
人数	40	33	49	12	4	4	58	90	1,755	974
割合	4.1	3.4	5.0	1.2	0.4	0.4	6.0	9.2	180.2	100.0

問23 現在の困った時の相談体制はあなたにとって、どのように感じますか。

( は1つだけ)

「ほぼ十分」が 29.7%と最も多く、「やや十分」の 25.7%、「不十分」の 18.3%が続きます。無回答も 17.0%を示しています。

「やや十分」を不十分に傾いた回答と判断すると、不十分が十分をやや上回っています。



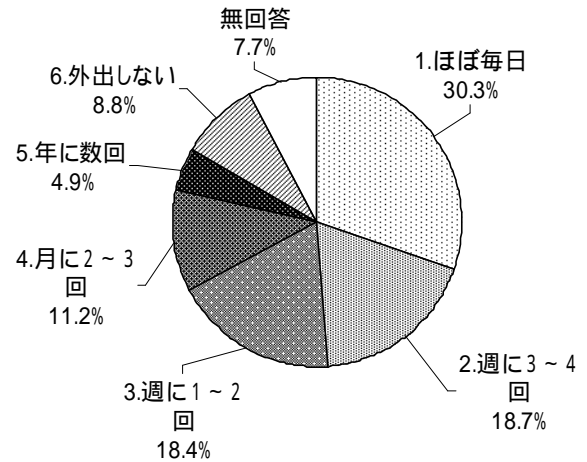
(単位:人、%)

区分	1.十分	2.ほぼ十分	3.やや十分	4.不十分	無回答	合計
人数	91	289	250	178	166	974
割合	9.3	29.7	25.7	18.3	17.0	100.0

## 8 外出について

問24 あなたは日頃どのくらい外出していますか（通勤・通学を含む）。（ は1つだけ）

「ほぼ毎日」が30.3%と最も多く、「週3～4回」の18.7%、「週1～2回」の18.4%が続きます。



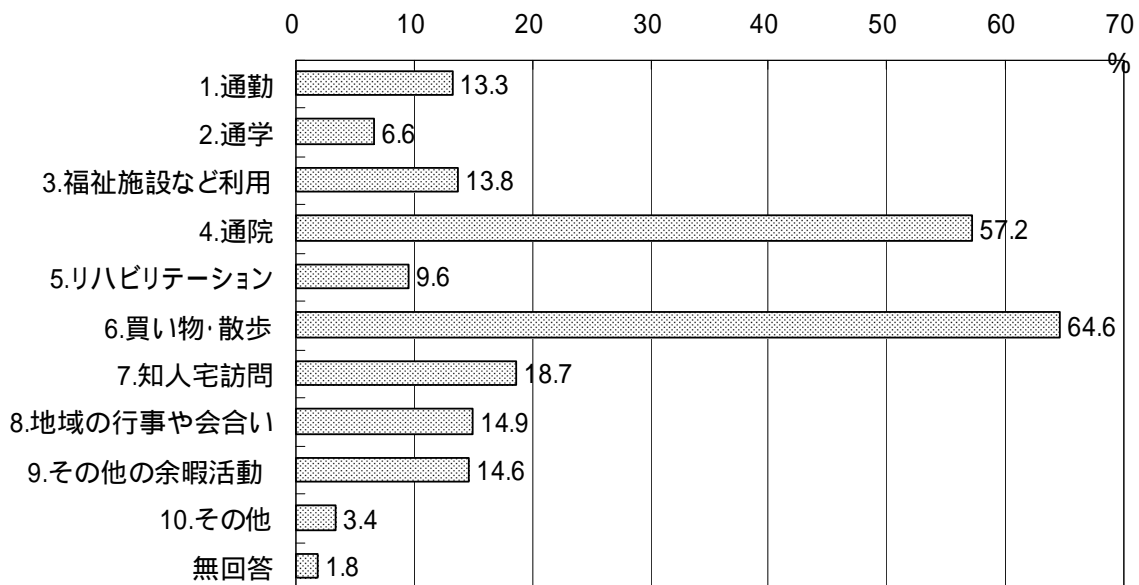
(単位:人、%)

区分	1.ほぼ毎日	2.週に3～4回	3.週に1～2回	4.月に2～3回	5.年に数回	6.外出しない	無回答	合計
人数	295	182	179	109	48	86	75	974
割合	30.3	18.7	18.4	11.2	4.9	8.8	7.7	100.0

(問24で「1」～「5」のいずれかの外出するとお答えの方に)

問24-1 外出される場合の主な目的は何ですか。(あてはまるものすべてに )

「買い物・散歩」の64.6%と、「通院」の57.2%の2つの目的が群を抜いて回答が多くなっています。



区分	1.通勤	2.通学	3.福祉施設など利用	4.通院	5.リハビリテーション	6.買い物・散歩	7.知人宅訪問	8.地域の行事や会合	9.その他の余暇活動
人数	108	54	112	465	78	525	152	121	119
割合	13.3	6.6	13.8	57.2	9.6	64.6	18.7	14.9	14.6

(単位:人、%)

10.その他	無回答	合計	回答者数
28	15	1,777	813
3.4	1.8	218.6	100.0

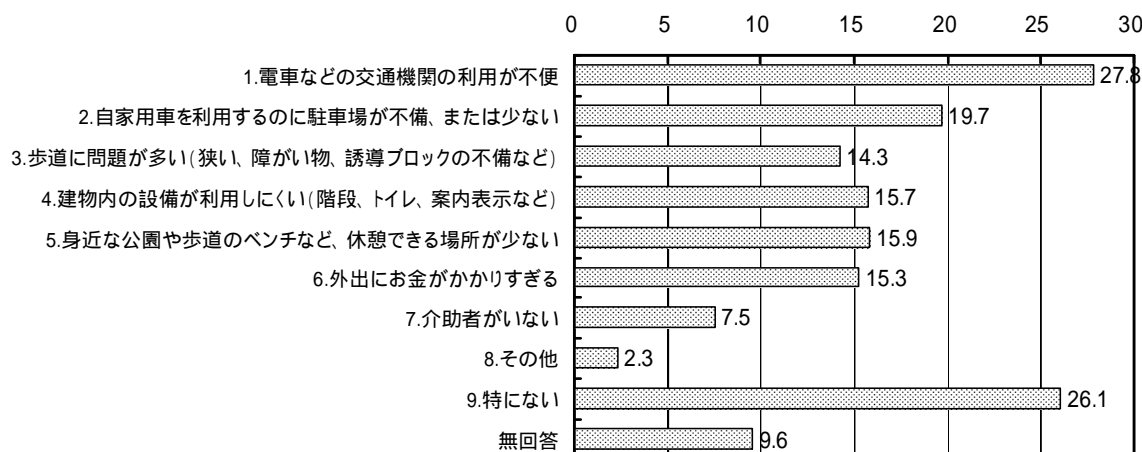
問24で「1」～「5」のいずれかの外出するとお答えの方に)

問24 - 2 外出のとき、不便に感じることや困ることは何ですか。

(あてはまるものすべてに )

「電車などの交通機関の利用が不便」が27.8%と最も多く、「自家用車を利用するのに駐車場が不便、また少ない」の19.7%が続きます。交通機関、車関連の不便が主な回答になります。また、「特にない」も26.1%と多くなっています。

%



区分	1.電車などの交通機関の利用が不便	2.自家用車を利用するのに駐車場が不備、または少ない	3.歩道に問題が多い(狭い、障がい物、誘導ブロックの不備など)	4.建物内の設備が利用しにくい(階段、トイレ、案内表示など)	5.身近な公園や歩道のベンチなど、休憩できる場所が少ない	6.外出にお金がかかりすぎる	7.介助者がいない	8.その他	9.特にない
人数	226	160	116	128	129	124	61	19	212
割合	27.8	19.7	14.3	15.7	15.9	15.3	7.5	2.3	26.1

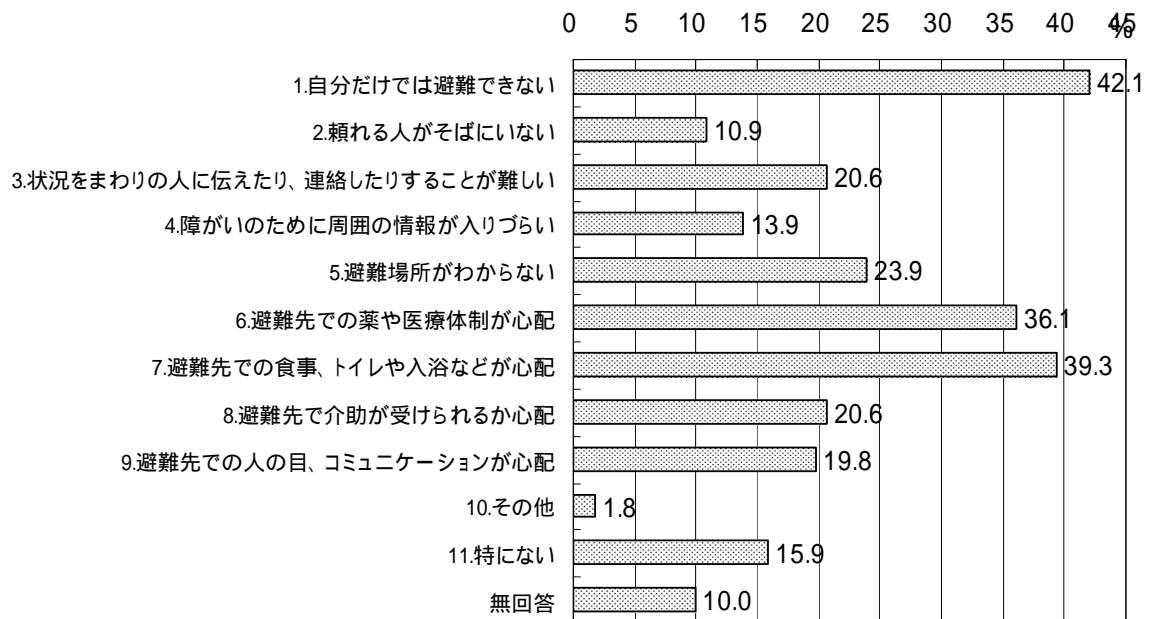
(単位:人、%)

無回答	合計	回答者数
78	1,253	813
9.6	154.1	100.0

## 9 災害時の避難について

問25 地震や火事などの災害などが起きた場合のことを考えて、日頃、あなたは不安になることがありますか。(あてはまるものすべてに )

「自分だけでは避難できない」が42.1%と最も多く、「避難先での食事、トイレや入浴などが心配」の39.3%、「避難先での薬や医療体制が心配」の36.1%が続きます。



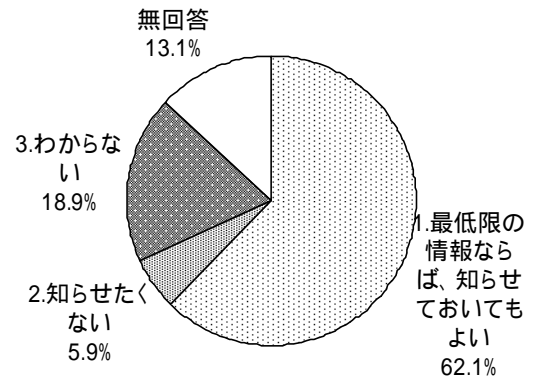
区分	1.自分だけでは避難できない	2.頼れる人がそばにいない	3.状況をまわりの人に伝えたり、連絡したりすることが難しい	4.障がいのために周囲の情報が入りづらい	5.避難場所がわからない	6.避難先での薬や医療体制が心配	7.避難先での食事、トイレや入浴などが心配	8.避難先で介助が受けられるか心配	9.避難先での人の目、コミュニケーションが心配
人数	410	106	201	135	233	352	383	201	193
割合	42.1	10.9	20.6	13.9	23.9	36.1	39.3	20.6	19.8

(単位:人、%)

10.その他	11.特にない	無回答	合計	回答者数
18	155	97	2,484	974
1.8	15.9	10.0	255.0	100.0

問26 あなたは、災害時の避難や救助のために、市役所や消防署、警察署、町内会・自治会などへ、住所・氏名・連絡先などを事前に知らせておくことについて、どう思いますか。( は1つだけ)

「最低限の情報ならば、知らせておいてもよい」が62.1%と6割強を占めます。「知らせたくない」は5.9%とわずかです。また、「わからない」が18.9%です。



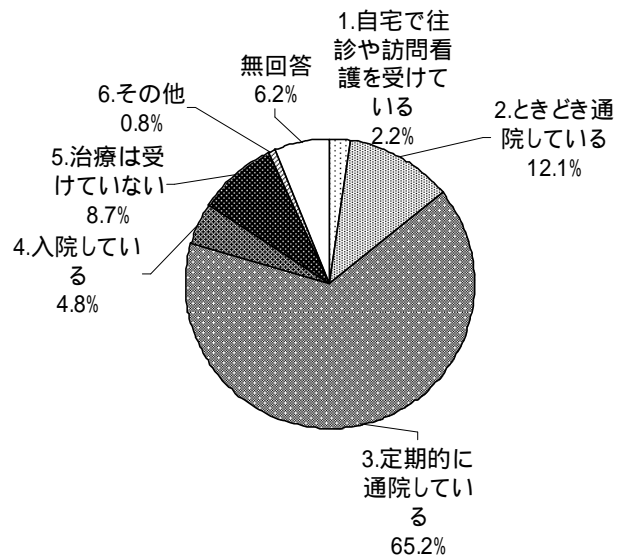
(単位:人、%)

区分	1.最低限の情報ならば、知らせておいてもよい	2.知らせたくない	3.わからない	無回答	合計
人数	605	57	184	128	974
割合	62.1	5.9	18.9	13.1	100.0

## 10 保健医療について

問27 現在、医師の治療を受けていますか。（ は1つだけ）

「定期的に通院している」が65.2%で全体の2/3を占めています。「治療を受けていない」は8.7%とわずかです。

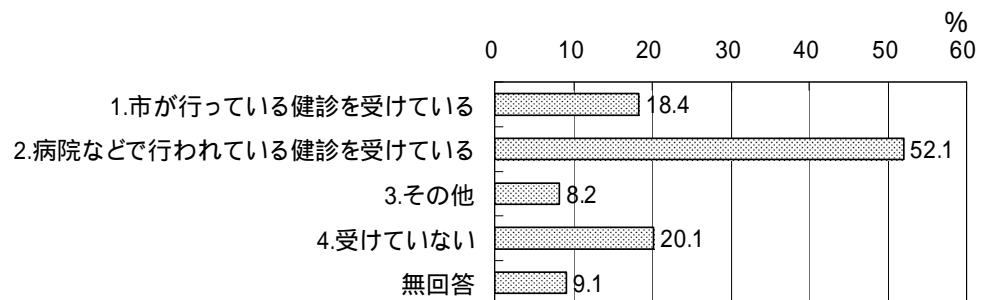


(単位:人、%)

区分	1.自宅で往診や訪問看護を受けている	2.ときどき通院している	3.定期的に通院している	4.入院している	5.治療を受けていない	6.その他	無回答	合計
人数	21	118	635	47	85	8	60	974
割合	2.2	12.1	65.2	4.8	8.7	0.8	6.2	100.0

問28 あなたは定期健診を受けていますか。（ は2つまで）

「病院などで行われている健診を受けている」が52.1%で、「市が行っている健診を受けている」は18.4%に止まっています。また、「受けていない」が20.1%と、5人に1人が回答しています。



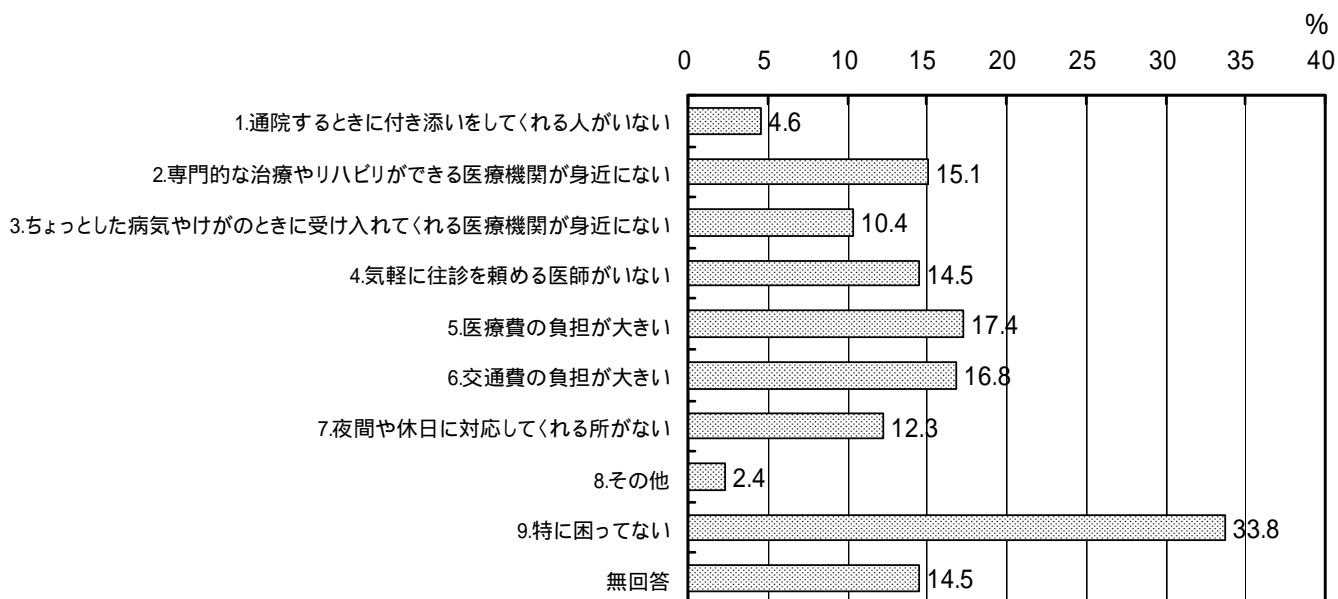
(単位:人、%)

区分	1.市が行っている健診を受けている	2.病院などで行われている健診を受けている	3.その他	4.受けていない	無回答	合計	回答者数
人数	179	507	80	196	89	1,051	974
割合	18.4	52.1	8.2	20.1	9.1	107.9	100.0



問29 医師の診療や定期健診、リハビリを受けるにあたって、お困りのことがありますか。（ は3つまで）

「特に困っていない」が33.8%と最も多くなっています。困っている内容の回答では、「医療費の負担が大きい」の17.4%、「交通費の負担が大きい」の16.8%、「専門的な治療やリハビリができる医療機関が身近にない」の15.1%、「気軽に往診を頼める医師がいない」の14.5%が主な内容になっています。



区分	1.通院するときに付き添いをしてくれる人がいない	2.専門的な治療やリハビリができる医療機関が身近にない	3.ちょっとした病気やけがのときに受け入れてくれる医療機関が身近にない	4.気軽に往診を頼める医師がいない	5.医療費の負担が大きい	6.交通費の負担が大きい	7.夜間や休日に対応してくれる所がない	8.その他	9.特に困ってない
人数	45	147	101	141	169	164	120	23	329
割合	4.6	15.1	10.4	14.5	17.4	16.8	12.3	2.4	33.8

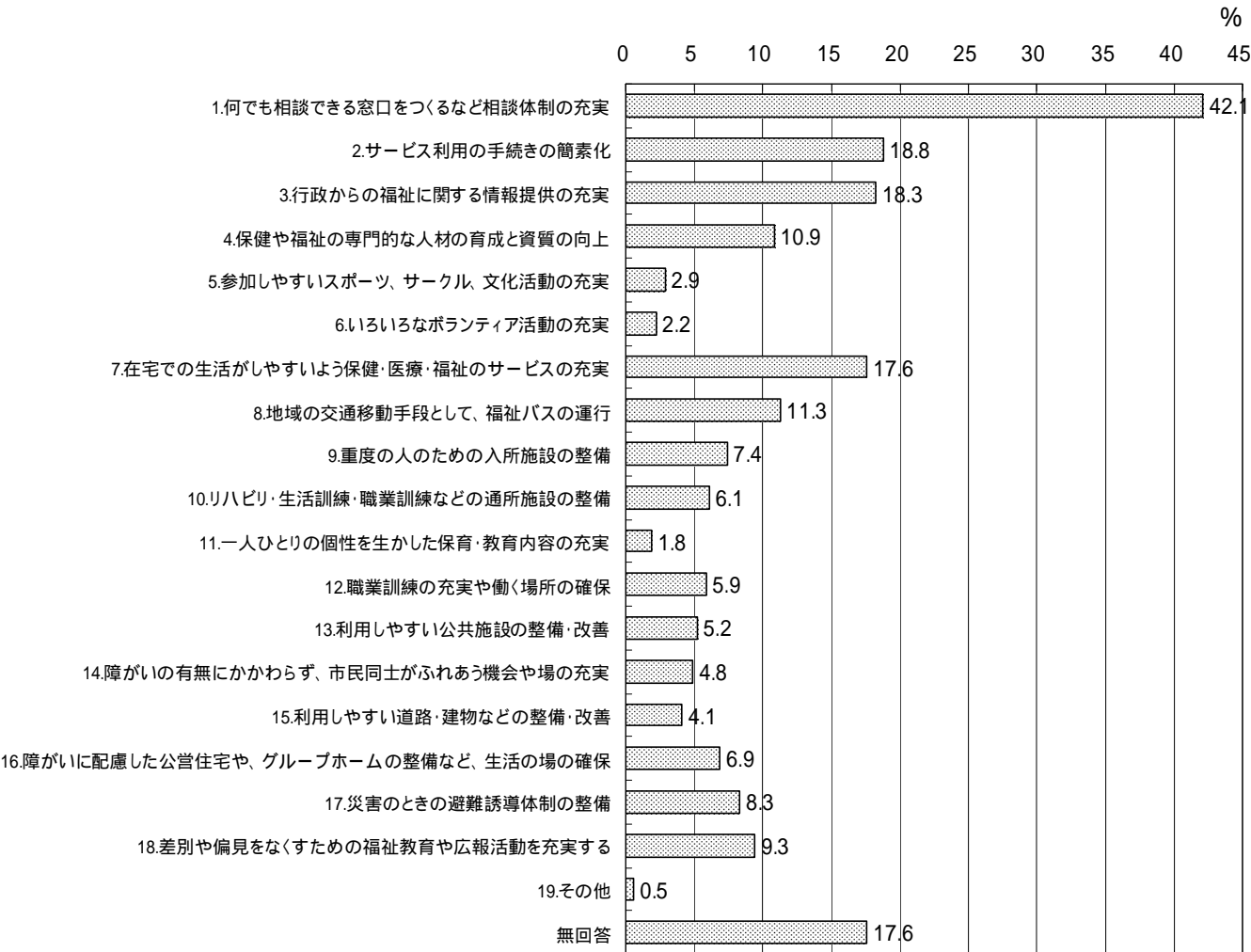
(単位:人、%)

無回答	合計	回答者数
141	1,380	974
14.5	141.7	100.0

# 11 障がい者施策について

問30 あなたは、障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと考えますか。（ は4つまで）

「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が42.1%と、群を抜いて多くなっています。「サービス利用の手続きの簡素化」の18.8%、「行政からの福祉に関する情報提供の充実」の18.3%、「在宅での生活がしやすいよう保健・医療福祉のサービスの充実」の17.6%が続きます。



区 分	1.何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	2.サービス利用の手続きの簡素化	3.行政からの福祉に関する情報提供の充実	4.保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	5.参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実	6.いろいろなボランティア活動の充実	7.在宅での生活がしやすいよう保健・医療・福祉のサービスの充実	8.地域の交通移動手段として、福祉バスの運行	9.重度の人のための入所施設の整備	10.リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	11.一人ひとりの個性を生かした保育・教育内容の充実
人 数	410	183	178	106	28	21	171	110	72	59	18
割 合	42.1	18.8	18.3	10.9	2.9	2.2	17.6	11.3	7.4	6.1	1.8

(単位:人、%)

12.職業訓練の充実や働く場所の確保	13.利用しやすい公共施設の整備・改善	14.障がいの有無にかかわらず、市民同士がふれあう機会や場の充実	15.利用しやすい道路・建物などの整備・改善	16.障がいに対応した公営住宅や、グループホームの整備など、生活の場の確保	17.災害のときの避難誘導体制の整備	18.差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動を充実する	19.その他	無回答	合計	回答者数
57	51	47	40	67	81	91	5	171	1,966	974
5.9	5.2	4.8	4.1	6.9	8.3	9.3	0.5	17.6	201.8	100.0

## 2. 団体ヒアリング

### (1) ヒアリングの目的

本ヒアリングは、「第1次小美玉市障がい者計画・第2期小美玉市障がい福祉計画」の策定にあたり、本市の各障がい者関係団体の方々から、障がい者の生活実態、将来の生活意向、障がい者施策などに対する意向についてヒアリングを行いました。

### (2) ヒアリング実施日と対象団体

実施日：平成20年10月22日      団体名：「小美玉市心身障がい児者父母の会」  
          ：平成20年11月12日                ：「小美玉市身体障がい者福祉協会」

### 「小美玉市心身障がい児者父母の会」のヒアリング結果

#### 日中一時支援のサービスについて

- ・ 現在、家族が日中仕事をしているので、日中一時支援を利用しているが、利用できるのは普通が7日間、8月のみ12日間の利用になっている。その日数ではかなり厳しい。もっと利用日数を増やして欲しい。市町村によって、利用できる日数に差がある。

#### 学校を卒業した後の居場所づくりについて

- ・ 養護学校の2年生であるが、卒業後の居場所が欲しい。つばさ作業所、かな作業所はいっぱい、1つでもいいから作業所が欲しい。高校を終わった後、行けるところがないのが最大の課題である。

#### 障がいの等級認定について

- ・ 障がいの程度から日中就労ができない、日中の介護が必要である。グループホームを望んでいるが、等級の関係で認められなかった。等級の認定にバラツキがある。

#### 作業所のサービスについて

- ・ つばさ作業所に行っているが、障がいの度合いにあった作業を用意して欲しい。また送迎が大変である。

#### 障がい者のスポーツについて

- ・ 運動不足なのでスポーツを週1回、月1回でもやらせたい。

#### スポーツイベント、クラブ活動について

- ・ 市民運動会に障がい者の団体で参加した。障がい者だけのスポーツ大会には行けるが、一般の人の大会に参加するのは難しい。また、障がい者も入れるクラブ活動があればいい。

#### 送迎サービスについて

- ・ つばさ作業所に送り迎えが、できない時は休ませている。送迎のサービスがあればと思う。

#### 就労の機会について

- ・ 一般企業に勤めている。本人は現在の仕事を続ける気持ちはない。できたら社協に就職したいと思っている。また、市職員の採用枠を広げて欲しい。

#### 社会における支援者づくりについて

- ・ 高校を卒業して、実習の後かんな作業所に行くようになった。しかし、秋ごろから行かなくなった。どうやら指導員が変わったことがきっかけになっている。
- ・ それから家にいるが、外に出たい気持ちはある。障がい者が地域で暮らすためには、支援者（ボランティア）が必要である。支援者が生まれる社会であって欲しい。

#### 作業所について

- ・ 作業所は出来るだけ欲しい。1つや2つでは難しい。親はいつまでも一緒にいられないのだから。学校の実習が活かされる場が欲しい。

#### 市の空幼稚園の利用について

- ・ 市の幼稚園統合により、空幼稚園ができる。それを作業所に使えないか。その他（日中一時支援）など、いろいろな使い道があるのではないか。学童保育は市で運営しているが、空幼稚園の運営を社協や父母の会でできないか。

## 「小美玉市身体障がい者福祉協会」のヒアリング結果

### 団体の会員、活動について

- ・ 身体障がい者の障がいの種類はいろいろある。盲、聾、内部障がいの人は、ほとんど本会に参加しない。肢体不自由の障がい者が団体活動の中心になっている。広報、啓発活動をやって会への入会を促さなければだめである。行政はもっと積極的にやって欲しい。

### 障がい者への補助について

- ・ 障がい福祉サービスの利用者負担が1割になっている。利用者負担について、補助している市町村がある。小美玉市はやっていないので、補助をお願いしたい。

### 障がいの等級による医療費補助の格差について

- ・ 障がいの等級によって、医療費の補助に差がある。等級による医療費補助の差は、不公平である。

### 行政の助成制度の廃止について

- ・ 障がい者に対する行政の助成制度が廃止される傾向にある。将来、助成制度がカットされないか不安である。

### 作業所の収入、就労の場の確保について

- ・ 作業所はいろいろな会社から仕事をとる努力をすべきである。作業所で障がい者が得る報酬は月数千円である。これではとても自立どころではない。3～4万円もらえるように、仕事の確保に努めて欲しい。障がい者の子どもの自立につながる就労の場を作らなければならない。

### 就労の場の確保について

- ・ 養護学校を卒業して、家に帰ってきててもその先のすべがない。行政は障がい者の就労の場の確保について、対応して欲しい。

### 現在の就労について

- ・ 現在、スーパーマーケットで働いている。一般の健常者と就業条件は変わらない。差別は受けていないので、現在の職場に満足している。

### 個人情報保護法の問題について

- ・ 会員の拡大の阻害要因として、個人情報保護法の問題がある。本人、家族が障がい者であることを伏せたがる気持ちがある。それが会への入会の妨げにもなっている。

#### 障がい者の収入の確保について

- ・ 少しでも障がい者の収入になるようにと、ボランティアで空き缶、ペットボトルのキャップ集めをしている。ボランティアに任せるのではなく、行政が主体的、積極的に実施しなければいけない。

#### 障がい福祉サービスの支給基準について

- ・ 以前は親の収入を基準とした支給の算定で、利用料の支払いが大変だった。現在の支給基準を変えないで欲しい。また、支給額が障がい者によって、あまりにも幅がありすぎる。申請事務も大変である。現在の認定を変更しないで欲しい。

#### 障がい者間の格差について

- ・ 私が身体障がい者福祉協会に入った時は、傷痍軍人がほとんどであり、傷痍軍人は強い絆で結ばれ、強い力を持っていた。障がい者のなかでも支援環境の差がある。障がい者の中でも格差が生まれている。

#### 計画の実行について

- ・ 計画は立てられるが、実行されないことが大きな問題である。また、国の制度を地方から変える、動かすことは難しい。市がどこまで上乘せして助成するかが問題である。